

別紙A

四日市版コミュニティスクール報告書（令和3年度総括）

四日市市立三重西小学校

校長 長崎 雅子

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

- (1) 地域・保護者とともに協働できる学校にするために協議会を設置し、様々な視点からの意見や考えを交流し合いながら、地域コミュニティづくりを推進します。
- (2) 学習支援や児童見守り等の保護者・地域との協力体制を継続・発展させ、学校・家庭・地域が一体となって児童の健全育成に努めます。
- (3) これまでの学校関係者評価をより充実させ、改善に努め、保護者・地域の思いや願いを反映した学校づくりを推進します。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

【しろやま倶楽部】

今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止策のため、いくつかの取組が中止となってしまいましたが、しろやま倶楽部の方々との交流会については、実施可能な範囲で行うことができました。

3年生では、総合的な学習の時間に8名の方を招いて、「昔の暮らし」についての学習を行いました。実物を見ながら、当時の生活の様子を聞くことで、よりイメージが膨みました。「七輪体験」はできませんでしたが、四日市市立博物館、郷土資料館の見学と合わせて、実物に触れたり、語り部と出会ったりすることができました。



【図書ボランティア「どんぐりの会」】

本校では、火曜日の9時30分から12時00分頃まで、本校の保護者である図書ボランティア「どんぐり会」の方々が来校され、活動をしていただいています。今年度は、感染症対策のため、放送による読み聞かせとなりましたが、子どもたちは一生懸命に聞くことができました。



また、例年行っている「七夕・ハロウィン・クリスマス」などのイベントを

開催することはできませんでしたが、「図書館まつり」にあわせて、学校のあちこちに飾りつけをしていただきました。第4回のCS会議の際に、図書室の飾りつけを見ていただきました。委員の皆様からも賞賛の声が聴かれました。

その他にも、本の紹介や、本棚の整理、破損した本の修理、読書記録の作成など、様々な活動をしていただきました。

【大正琴クラブ】

大正琴の音色や雰囲気を感じ取らせるために、子どもたちに馴染みのある「かえるの合唱」「森のくまさん」の曲に合わせて、演奏をしています。



(2) コミュニティスクール(運営協議会)の取組による効果

今年度は、第1回の会議が書面開催となりました。また、給食を一緒に食べることもできませんでした。しかし、年間通して様々なご意見をいただき協議することができました。

特に、タブレットを使った学習で、「子どもたちはタブレットをととても上手に使っているが、それをどう生かしていくかが今後の課題ではないか」とのご意見を頂きました。また、体力の低下についても話題として提示しましたが、学校のこれからの取組の必要性が確認されました。

他にも、運動会の午前中開催や地域子ども教室について、協議していただきました。

3 今後に向けて

今年度も多くの地域の方々にご協力いただき、学習活動や特別活動が充実したものとなりました。次年度の活動については、本年度の活動を踏まえ、感染症対策も含めて、有効な交流が実施される方向で協議を進めたいと思います。

また、登下校の見守り等の取組も引き続き行われ、地域と学校が協力し合うことができました。今後もこの協力体制を大切に、これまでの活動の継続と無理のない発展的な活動を目指していきたいと考えています。